

問1 1868年、王政復古の号令によって政治の主導権を握った薩摩・長州らを中心とする勢力と、これに反発した旧幕府軍との間で発生した、一連の内戦の名称として適切なものはどれですか。（2018年 熊本県公立入試 類似）

1. 戊辰戦争                      2. 西南戦争                      3. 下関戦争                      4. 生麦事件

問2 明治維新时期に行われた新政府による改革の一つに「地租改正」があります。この制度の内容について正しく述べたものはどれですか。（2017年 秋田県公立入試 類似）

1. 土地の価格である地価を基準とし、土地の所有者である地主に、地租を現金で納めさせた。      2. 土地の面積を基準とし、実際に収穫された米の量に応じた額を、農民に米で納めさせた。      3. 全国の藩を廃止して府と県を置き、各地域の農民から直接、一律の金額を徴収した。      4. 満6歳以上の男女に教育を受けさせる制度を整え、その費用を土地の面積に応じて徴収した。

問3 岩倉使節団が最初に訪れたアメリカ合衆国の当時の状況と、視察の目的について述べた文として最も適切なものを選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 南北戦争が終結して国家の再建が進むアメリカを訪れ、不平等条約の改正準備と諸制度の視察を行った      2. 独立戦争の最中であったアメリカを訪れ、イギリスからの独立を支援するための軍事同盟を模索した      3. 世界恐慌による不況に苦しむアメリカを訪れ、金本位制の導入に関する経済的な助言を求めた      4. 第一次世界大戦後の国際連盟結成を前に、アメリカ大統領と平和条約の締結について協議した

問4 明治維新时期に行われた地租改正では、それまでの太閤検地以来の仕組みから、課税の基準と納税の方法が大きく変更されました。地租改正後の基準と方法の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 岡山公立入試 類似）

1. 土地の価値である「地価」を基準とし、土地の所有者が現金で納める      2. 土地の面積を基準とし、耕作者が米で納める      3. 毎年の収穫量（石高）を基準とし、土地の所有者が米で納める      4. 村全体の人口を基準とし、村単位で一括して現金で納める

問5 地租改正の実施により、明治政府の財政運営はどのように変化しましたか。その仕組みの背景を含めて説明したものとして適切なものを選びなさい。（2026年 福島公立入試 類似）

1. 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず予算の見通しが立てやすくなった。      2. 小作人に土地を安く売り渡すことで、自作農を増やして農業生産力を高め、税収を倍増させた。      3. 収穫量に応じて税率を毎年変動させる仕組みを導入し、農民の負担を大幅に軽減させた。      4. 土地をすべて国有化し、国民から一律に地代を徴収することで、身分制度の解体を進めた。

問6 徴兵令の施行に際し、当時の平民（農民など）の間で起きた反応や、その後の社会の変化について述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 栃木公立入試 類似）

1. 労働力を奪われることへの反発から、各地で「血税一揆」と呼ばれる反対運動が起きた。      2. 武士と同じ特権が得られると期待した農民たちが、自発的に軍へ入隊した。      3. 戸主や学生などは徴兵を免除される規定がなかったため、全ての男子が平等に徴兵された。      4. この法令によって士族の特権が守られたため、士族による反乱は沈静化した。

問7 1860年代の日本の歴史をまとめた年表において、徳川慶喜が政権を朝廷に返した「大政奉還」の直後に位置づけられる、天皇を中心とした新政府の樹立を宣言した出来事を選びなさい。（2018年 愛媛公立入試 類似）

1. 王政復古の太号令                      2. 五箇条の御誓文                      3. 版籍奉還                      4. 廃藩置県

問8 明治政府が実施した地租改正において、それまでの江戸時代の年貢の納め方と比較して、税の基準と納入方法がどのように変更されたか、最も適切なものを選びなさい。（2026年 福岡公立入試 類似）

1. 土地の価格を基準とし、現金で納めるように変更された。      2. 収穫高を基準とし、米で納めるように変更された。      3. 土地の面積を基準とし、米で納めるように変更された。      4. 収穫高を基準とし、現金で納めるように変更された。

問9 明治政府の有力者に関する説明として正しい人物を選びなさい。この人物は岩倉使節団の一員として欧米諸国を視察して帰国した後、政府内で対立した西郷隆盛らの「征韓論」に反対しました。その後、内務省を設置して初代の内務卿となり、日本の近代化を目指して殖産興業政策を強力に推進しました。（2016年 愛媛公立入試 類似）

1. 大久保利通                      2. 木戸孝允                      3. 伊藤博文                      4. 板垣退助